

令和4年度近畿府県合同防災訓練について

～近隣府県の緊急消防援助隊が参集・連携し、大規模な災害救助訓練を実施

近畿府県合同防災訓練は、近畿圏2府7県が持ち回りで実施する訓練で、本年度は滋賀県が9年に1度の当番県となっており、①滋賀県総合防災訓練、②緊急消防援助隊^(※)近畿ブロック合同訓練、③関西広域連合合同訓練を一体的に実施します。

※阪神・淡路大震災を契機に発足した全国的な消防部隊。被災地の消防力だけでは対応困難な大規模災害時等に出動する。

日時

令和4年10月15日(土) 午前8時～16日(日) 午後12時ころ

場所

- メイン会場 旧長浜北高等学校跡地(長浜市山階町)
- その他
大津市～滋賀県危機管理センター(京町四丁目)
長浜市～長浜市立東中学校(堀部町)、長浜港(港町)、神照運動公園(神照町)、
太信建設(株)土砂採取場(西浅井町沓掛)、長浜キャノン(株)駐車場(国友町)
米原市～米原市立双葉中学校グラウンド・双葉総合体育館(顔戸)、旧横山トンネル(菅江)、近江鋳業(株)弥高採鋳所(上野)

目的

- 関係機関の連携強化
- 広域的な応援体制の充実・強化
- 住民の防災意識の高揚

想定

訓練当日、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする大規模地震が発生。滋賀県北部を中心に最大震度6強を観測し、建物の倒壊、火災や液状化が発生するとともに、ガス・水道・電気・電話等ライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生。また、大型台風の通過後で河川は増水しており、一部地域で氾濫も起きている。加えて、新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあり、県内において継続して新規陽性者が確認されている状況。

内容

添付資料1・2のとおり

特徴

- 実際の災害現場に近い状況で消防特殊車両や防災ヘリ等を活用した実践的な救助訓練
- 災害時の死者・安否不明者等の氏名公表に伴う業務フローを確認・検証する訓練

主催

- 近畿府県合同防災訓練実行委員会（滋賀県、福井県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、関西広域連合）
- 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練実行委員会（総務省消防庁、滋賀県、滋賀県消防長会）
- 滋賀県総合防災訓練実行委員会（滋賀県、長浜市、米原市、湖北地域消防本部）

参加機関等

- 参加機関：約110機関
- 参加人員：約3,500人
- 参加車両：約250台 航空機18機 船舶2艇

その他

10月16日(日)、メイン会場および米原市立双葉中学校グラウンドでは、防災関連企業による展示・PRコーナーを設けます。

添付資料

- 資料1 令和4年度近畿府県合同防災訓練 リーフレット
- 資料2 令和4年度近畿府県合同防災訓練 訓練紹介